



Rotary International District 2800

# 山形西ロータリークラブ会報

会長：東海林 健登 幹事：武田 岳彦

## 地区目標

中核的価値観のもと、時流対応の時  
～奉仕の心の醸成と実践するロータリアン～

## クラブテーマ

ロータリーの価値を改めて考え、そして楽しむ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

◆点鐘：東海林健登 会長

◆ロータリーソング：四つのテスト

◆司会：浦山 潔 S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2917回例会

令和3年7月26日(月)

## 会長あいさつ

東海林 健登 会長



社会福祉活動の1つとして、山形地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所の民事調停委員・家事調停委員をさせていただいております。今日は調停委員を委嘱されて以来、感じる事柄の1つをお話したいと思います。

仕事柄、遺産分割事件に関する調停委員をすることが多いのですが、

よく、遺言または信託契約などをしておけばこんな争状状態にはならなかったと思うようなことが多々あります。このようなことは決して珍しいことではないと思います。

遺言の種類としては、主に公正証書遺言と自筆証書遺言の2つあります。公正証書遺言は原則、公証人役場にて公証人に口述し作成される遺言であります。自筆証書遺言は、財産目録以外、遺言書がその全文・日付・および氏名を自署し、これに印を押し作成される遺言であります。では何が違うのか。公正証書遺言は検認の必要がなく、内容も専門家の記述であるということです。検認とは、被相続人死亡時の住所地を管轄する家庭裁判所において、遺言書について変造などを防ぐためにその存在と形式を調査・確認するため、相続人を集め行われるものです。このたび、令和2年7月10日から、全国の法務局において「自筆証書遺言保管制度」が実施されております。この制度は、遺言書を作成した本人の死亡後に、本人が記載した保管申請書の死亡時の通知の対象者欄に、通知対象者が記載されることによって、その指定された者に対し法務局の遺言書保管官から遺言書を保管している旨の通知がなされます。それによって遺言書が相続人に発見されなかったり、一部の相続人に改ざんされるなどの問題点が解消されるわけであります一番の利点は、検認手続きが不要になるということです。また、法務局の遺言書保管官によって、民法に規定する自筆証書遺言の方式について外形的な確認を即おこない、遺言書の形式が整っていることが確認されます。しかし、遺言内容に助言等がなされない、とのことですので、この点が公正証書との相違点であります。

幸い、遺言内容について皆さまにおかれましては、周りにたくさんの方のロータリアンの弁護士さんがいらっしゃいますので、その辺のところお聞きいただいでご確認いただければ何の問題もないと思います。

この機会に私も法務局に向かい、いろいろ尋ねてみました。現在、自筆証書遺言保管制度はなかなか市民の方々に浸透していないようです。皆さまから制度の広報をしていただくこと、そして遺言することの重要性について周りのお知り合いにお話しいただくことをお願いして、挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

武田 岳彦 幹事

- 理事、役員、委員長の皆さんにご案内が届いているかと思えますけれども、次回例会の15分前に集合写真を撮影いたしますので、ご多用のところ恐縮ですが12時15分集合ということでよろしくお願いをいたします。
- 金沢西ロータリークラブさんから、かわいい最中が届いております。さくらんぼのお礼ということで頂戴いたしました。食べるかお持ち帰りいただくようお願いをいたします。
- 地区の名簿、校正が来ております。後ほどテーブルごと回覧いたしますのでご自分のところを確認いただいて、訂正があればご記入をお願いいたします。
- 西ロータリー事務局の携帯電話を準備いたしました。話中が多かったり、いろいろご不便をおかけしていたということで、携帯電話を準備いたしました。番号が入ったものを後日皆さんにFAXいたしますので、ご用がある方は、携帯のほうにおかけをいただければスムーズかなと思います。
- 本日、新入会員として後藤吉伸さんをお迎えすることができました。どうぞよろしくお願いをいたします。

## 新入会員紹介



後藤 吉伸 さん／山形建設

山形建設の後藤吉伸と申します。歴史と伝統のある山形西ロータリークラブの入会にご承認をいただきまして、誠にありがとうございます。この会のお役に立てますように精一杯頑張ってみますので、どうぞご指導のほどよろしくお願いをいたします。

## ニコニコBOX

〈7月26日〉

**東海林健登会長**／職業奉仕常任委員会、奉仕プロジェクト常任委員会、ロータリー財団・米山奨学会常任委員会の皆さま、そして結城ガバナー補佐、1年間よろしくお願いをいたします。

**及川善大さん**／初めての家族旅行

この連休中、子どもが生まれて初めて家族旅行であつみ温泉に行ってみました。感染対策もしっかりされており、安心して楽しめました。感染対策をしっかり行えば経済回せる、ということを実感できたのでニコニコします。

■例会：毎週月曜日 12:30～13:30 ■会場：山形グランドホテル TEL:641-2611

■事務局：山形市十日町 1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル 2F TEL:632-7777 FAX:624-5200

# 委員会活動方針説明

## 橋本 徳光

(職業奉仕常任委員会)



本年度、職業奉仕常任委員会委員を仰せつかってごいます橋本でございます。理事というお役目でございますが、いささか心苦しく思っておるところではございますが、何とぞ1年間、よろしく願い申し上げます。

当委員会といたしましては、職業奉仕委員会、職業交流委員会、共に活動すべき案件というのが決まっております。まだまだコロナ禍の影響下での活動制限ということも考えられる状況ではございますが、東海林会長のご意向とご方針に沿った形で進めてまいりたいと存じております。ひとつよろしく願いを申し上げます。

それぞれの委員会の方針説明に関しましては、詳細を後ほどお願いを申し上げますことといたしまして、会員の皆さまにおかれましては、当委員会に対しましてご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何とぞよろしく願いを申し上げます。どうぞ1年間、温かい目で見守っていただきながら、ぜひご指導ご鞭撻をいただきながらよろしく願い申し上げます。

## 西谷 真一

(職業奉仕委員会)



職業奉仕委員会の方針を説明させていただきます。委員長は武田良和さん。副委員長は私西谷真一、委員として佐藤充昭さん、鏡武利さん、鈴木謙司さん、岡崎重知さん。以上のメンバーで1年間頑張らせていただきます。

方針といたしまして、ロータリー活動の基軸となる職業奉仕について、会員の皆さまと共に実践していく事業を進めてまいります。

1. ニューノーマルな社会に向け、組織改革や新規事業推進などに取り組んでいる職場を訪問し、先進的事例を共有できる機会として職場訪問例会を開催いたします。具体的な訪問先としましては、今後検討して、事前に皆さまにお知らせすることといたしますので、本日の時点ではまだ確定しておりません。
2. 球風会や西風会、写楽クラブ、茶道同好会などの職業交流の場をサポートいたします。これは職業交流委員会のほうと多少ダブってきているかとは思いますが、お互い分担をして滞りなく進めたいと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

## 渡辺 隆博

(職業交流委員会)



職業交流委員会委員長を仰せつかりました渡辺隆博です。どうぞよろしく願いいたします。副委員長は高嶋俊幸さん、委員は浦口太門さん、高橋勝治さん、庄司時雄さん、曾根賢治さん、角田浩二郎さんということで、重鎮の方々が揃い踏みしておりますので、いろいろご意見を頂戴しながら進めてまいりたいと思います。

計画内容としましては、会員相互の交流を深めていくために、球風会、西風会の運営を企画いたしております。

西風会と写楽クラブ、茶道同好会のほうは、いろいろ連携しながらサポートしてまいりたいと思います。よろしく願いします。

今回、球風会のほうが9月12日に蔵王カントリークラブで開催予定となっております。こちらは例年ですと山形ゴルフ倶楽部で開催する予定でしたが、7ロータリー親善ゴルフコンペが蔵王カントリークラブでございますので、その練習会ということで蔵王のほうに変更しております。皆さまからぜひ多大な参加をお願いしたいと思います。昨年は遠藤靖彦さんが優勝ということで、7ロータリーで優勝されました。団体戦では非常に残念ですが山形北ロータリーさんに一歩及ばず準優勝という形になりましたので、今年は優勝を狙いたいなというふうに思いますので、皆さま方の参加をよろしく願いしたいと思います。

来年の5月に球風会は山形ゴルフのほうで開催予定となっておりますので、こちらのほうも皆さま方の参加をお願いしたいと思います。

今年1年、どうかよろしく願いいたします。

## 武田 秀和

(奉仕プロジェクト常任委員長)



奉仕プロジェクトの常任委員長を仰せつかりました武田秀和と申します。若輩者でなにぶん分からないことも多いと思いますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

当常任委員会は、社会奉仕委員会、ニコニコボックス委員会、青少年委員会の3つの委員会から構成されております。東海林会長の思いのある社会の役に立つ社会奉仕事業の検討と実行を行なってまいります。

それぞれ3つの委員会、実行力のある委員長のもと行なっていきますが、社会奉仕委員会佐藤委員長のもとでは、離婚や別居で離れて暮らす子と親の面会交流を支援する第三者機関である、「面会交流支援センターやまがた」愛称、虹の会の支援や、地域社会のニーズを汲み

取った提案を行います。

青少年委員会宇佐美委員長のもとでは、地区からの補助を得て、家庭内において望ましい形で食事を取れない子どもに対し食事を提供する「こども食堂」の立ち上げ支援のほか、次世代を担う青少年を育成することを重要な任務としております。

また、このような奉仕活動の大きな財源となるのがニコニコボックスであります。こちら、及川委員長のもと、皆さまの多大なご協力をよろしくお願い申し上げます。

こちら、ロータリー活動の大きな意義である奉仕活動を3つの委員会の連携のもと1年間推進してまいります。よろしくお願いいたします。

## 佐藤 英一 (社会奉仕委員会)



社会奉仕委員会委員長を仰せつかりました佐藤です。精一杯がんばっていきたく思います。併せて副委員長、委員の皆ともをお願いいたします。

武田理事からもありましたように、「面会交流支援センターやまがた」愛称、虹の会を支援をするということで、この虹の会が、離婚や別居で離れて暮らす子と親の面会交流を支援する団体さんということで、まずはこの虹の会を西ロータリークラブの会員にも知ってもらうということかと思い、9月13日にこの虹の会の副理事長、佐藤副理事長さんから卓話をいただいて、会の概要、立ち上げ理由、実情等を話していただくような計画になっております。

支援につきましては、先日当委員会の細谷会員と虹の会に出向いて話を聞いてきました。会自体が今年の9月に東北では岩手県に次いで2カ所目の立ち上げということで、庁舎事務所を構えたのが今年の4月になってから、山形県の小白川庁舎内、山形県の支援をいただいて事務所を構えたというようなことでした。

居を構えたばかりというようなこともあり、どういった支援が必要か、という話をしたんですけども、支援を受けられるほうも何もかにも足りないみたいな雰囲気のお話で、実際現金が1番ありがたいというようなお話の中味でした。その方向での支援になるかもしれませんが、まずは今年度初めての事業ということで、虹の会なるものを広く知ってもらうというようなところも含めて、さらに模索していきたいと思っております。

もう1つ、恒例となりつつあります市内の清掃ボランティア活動を含めた早朝の変更例会を企画します。予定では来年の5月23日に、清掃活動を含めた早朝例会を企画いたしますので、朝早くからではございますが、ぜひ皆さん、多数ご参加していただければと思います。

社会奉仕としてはこの2つの事業をメインに動いていきたいと思っておりますけれども、会長からはロータリークラブらしい新しい事業の提案も行なってというような話題がありますので、委員会内部でも検討しながら、皆さんからお知恵を拝借しながら進めていきたいと思っておりますので、その辺のご支援もよろしくお願いいたします。

## 及川 善大 (ニコニコボックス委員会)



ニコニコボックス委員会委員長の及川です。当委員会は角田副委員長、千歳さん、小松公博さん、小林廣之さん、勝部さん、合計6名での構成でございます。私もロータリーに入ってまだ3年目という若輩者で委員長という役職を仰せつかりまして、大変緊張しております。

ニコニコにつきましては、今月の例会で既に多くの皆さまからご協力をいただいているところでございまして、そちらがロータリーのいろんな奉仕活動の財源に回るという極めて大事なものでございます。お声掛けをさせていただくこともあろうかと思っておりますけれども、その時はご協力をいただければと思います。

また、お手元、各テーブルに今ニコニコの用紙がそれぞれ置いてあるかと思うのですが、皆さま、1度ちょっと用紙をお手に取って改めて見ていただきたいと思っております。毎回例会場にこの用紙は準備しておきますので、何かございました時にこちらでお書きいただければそれで結構なわけですが、もし事前に書いて来たいという方がいらっしゃれば、ぜひ用紙をお持ち帰りいただいて事前に準備をしていただけると、スムーズに行くのかなと考えております。

ですので、今お手元を取っていただいたということで、皆さまぜひお持ち帰りいただいて例会の時に何か書いて持ってきていただき、それで気持ちを少しニコニコしていただくと非常に我々としてもありがたいということになりますので、ぜひご協力をいただければ幸いです。

一応FAXとかメールとかでのニコニコというのも受付も昨年度から継続してやっているわけですが、なかなかFAXやメールでニコニコするというのは難しいと思っております。ですので、ぜひその用紙で例会場にてニコニコをいただければ幸いです。

まだまだ不慣れな点もあって失礼も多々おかけすることがあるかと思いますが、1年間がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 宇佐美 俊治 (青少年委員会)



青少年委員会委員長を仰せつかりました宇佐美です。当委員会のほうは、副委員長に高橋昌之さん、委員に吉田昌弘さん、小山陽さん、川辺智之さんという5名の委員会メンバーで構成されております。

年間計画といたしましては、1つ目は、地区からの補助金を得てこども食堂を立ち上げるという任務がございます。これは会長・幹事のほうとご相談させていただきながらいろいろな面で貢献できるように活動してまいりたいと思っております。

活動の2番目といたしましては、引き続き山形大学若手研修者支援について検討をするということで、会長のほうからこの2つを中心に活動するようというご指示をいただいております。

このほかにも青少年といえばインターアクトやロータリーアクトやRYLAとか、今まで青少年関係のことで活動してきた件もたくさんあると思うのですが、そういうようなことも今後出てきましたら当委員会のほうで活動してまいりたいと思っております。

こども食堂の立ち上げということなので、もしかしたら食材の提供とかそういうことも出てくるかもしれません。幸いなことに私や斎藤さんは魚屋でありますし、当委員会の吉田さんは肉屋でございます。このロータリークラブの皆さま方の中には、お米屋さんやお菓子屋さんやフルーツ缶詰屋さんとか、もういろいろおいしいものを取り扱っている会社様がたくさんいらっしゃいますので、そういう面でご協力いただくかもしれませんので、その時はどうぞご協力よろしくお願ひしたいと思います。

皆さん1年間よろしくお願ひいたします。

## 尾形 亨

(ロータリー財団・米山奨学会理事)



ロータリー財団・米山奨学会理事の尾形でございます。1年間よろしくお願ひ申し上げます。

ロータリー財団の原田委員長、米山奨学会の芦野委員長ともども、委員会の趣旨・目的を深く理解していらっしゃいます。東海林会長の要望・目標を必ず達成できるものと確信をいたしておるところでございます。

この世界の恵まれない人々の貧困の救済・支援等を通じて世界平和を目的とするロータリー財団。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給、支援。将来日本と世界との懸け橋となって活躍する人々の人材の育成を目指す米山奨学会。ともに世界に冠たる人道的支援団体、民間団体であります。

その精神的バックボーンというのが騎士道、あるいは武士道精神、博愛、慈愛が根底にあるのではないかなと思っております。「noblesse oblige (ノブレス・オブリージュ)」身分ある者は高い義務を果たすべきであるというのではないのでしょうか。その原資は主にロータリアンの皆さま方の寄付金によるものでございます。

2021-22年度目標、ロータリー財団は1人150ドル。米山奨学会は1人15,000円が目標であります。山形西ロータリークラブの皆さま方の温かいご支援をよろしくお願ひを申し上げます。

## 原田 久雄

(ロータリー財団委員会)



副委員長に佐藤信勝さん、委員に佐藤茂雄さん、鈴木隆一さん、私を含めて4名でございます。

今年度の計画としまして、まずロータリー財団を知ってもらおうということにあります。最近新しい会員の方々も増えて、「ロータリー財団、寄付って何に使ってるの?」なんて思ってる方も多いと思います。今回はファイヤーサイドミーティングとかでその辺の話ができれば、なんていうことも計画しております。

ロータリー財団の使命、資金の拠出、補助金により実施されてきた事業を会員の皆さまに理解いただき、新型コロナでまだまだ先が見えない中ですが、寄付を募ることを理解しております。今年度目標金額は、地区大会、2800地区目標の年間1人あたり150ドル、会員の皆さまには1人あたり100ドルの特別寄付をお願いしております。

それから7月から、グローバル補助金における需要と供給のバランスをはかることを目的にした方針の1部変更がされております。11月のロータリー財団月間におかれまして、卓話にてその辺のものを説明いただけるように地区のほうをお願いしているところでございます。

現在控えている会食などの1部を寄付に回していただきたいというお願ひして、お声を掛けたいと思います。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

## 芦野 茂

(米山奨学会委員会)



委員会メンバーには、副委員長に伊藤義彦先生、清野伸昭さん、本日より入会していただきました後藤吉伸さんの4名です。

委員会活動としては、1年間を通して特別寄付の10,000円をお願いしたいと思っております。それには「米山は何か?」「なぜ寄付をするのか?」などの疑問を解決し、3年以内の新入会員への勉強会を行い、寄付の重要性を伝えたいと思っております。

今年度は皆さまに分かりやすいように特別寄付の金額を決めてまいりました。会長・幹事・理事・直前・エレクト・会長経験者は30,000円以上をお願いいたします。副会長・副幹事・幹事経験者・会計は20,000円以上をお願いいたします。委員長・副委員長は10,000円以上、会員の方は10,000円ぴったりでよろしくお願ひいたします。

また、10月の米山強化月間では地区米山奨学学友委員会より米山奨学生、カウンセラー、または委員長などをお招きして卓話をお願いしたいと思っております。日時は10月4日の例会になります。数多くの出席になりますよう、皆さまにお願ひしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

本日出席 (7 / 26)	会員総数	出席会員数
	99名	65名+ズーム参加2名